

2013年(平成25年)7月7日 日曜日 社会 (26)

砂丘ナガイモと巨大スイカで“鏡開き”を行う出席者=6日、東京・六本木のアークヒルズ



六本木 北栄町の農園開設

鳥取県北栄町は6日、東京・六本木の複合施設、アーチヒルズのカラヤン広場一角に、町特産のスイカやブドウなどの苗木を植えた農園「マルシェファーム北栄」を設置した。8月31日まで、農産物の生育過程を消費者に披露しながら、農産物のPRイベントや販売を実施。“北栄町ブランド”的魅力を発信していく。

広場はコンサートホールやカフェに囲まれた屋外多目的スペース。約80平方㍍に砂丘の砂と黒ぼくを持ち込み、「大栄スイカ」など花の苗木を植栽。豊かな自然や風土を再現した。同所で毎週土曜日に開かれる「ヒルズマルシェ」にブー

ブランド農産品 魅力発信

スを出店する。県の「がんばる地域プラン事業」を活用した。

開会式があり、松本昭夫町長が「安全でおいしい北栄町の農産物を楽しんでほしい」とあいさつし、平井伸治県知事は植栽された農産物を紹介。砂丘ナガイモと75キロもある巨大スイカを使つた“鏡開き”を行い、切り分けられたスイカを手に「スイカンパイ!」と乾杯した。

約80個分の大栄スイカが無料配布され、訪れた家族連れらが炎天下で渴いたのどを潤した。また、同町出身の野菜料理研究家、カノウユミコさんが同町のふるさと大使第1号に任命された。